

報道関係各位

2023年9月8日

大阪経済大学

**大阪経済大学 国際共創学部CM 『ありえない、を超えよう。』  
 ブレイキン強化選手 Shigekix(半井重幸)選手が出演！**

梅田サイファーの書きおろしラップにのせて、世界最高峰の表現力と創造力を披露  
 「落語×ブレイキン」篇 「茶道×ブレイキン」篇

**2023年9月11日(月)より、TV&Web CM配信**

<https://www.osaka-ue.ac.jp/newfaculty/cm/>

大阪経済大学(学長:山本俊一郎/所在:大阪市東淀川区大隅2-2-8)は、2024年パリオリンピックで注目の新種目となるブレイキン(ブレイクダンス)の国内における第一人者・Shigekix(半井重幸)選手が出演する国際共創学部CM『ありえない、を超えよう。』「落語×ブレイキン」篇、「茶道×ブレイキン」篇を、2023年9月11日(月)から関西地区などで放映するとともに、交通広告・屋外広告を展開します。

また同日10時より「国際共創学部」特設サイト(<https://www.osaka-ue.ac.jp/newfaculty/cm/>)にて、CM動画、メイキング、Shigekix選手のインタビューを公開します。

2024年4月、大阪経済大学は「国際共創学部」を新設します。新学部は、現代の複雑化する社会・経済課題を解決するため、グローバルな視点とローカルな視点を合わせ持った、新しい価値を生み出していく人材の育成を目指します。

この度、これまでの常識を超えて、これからの常識を創り出す「国際共創学部」をPRするため、『ありえない、を超えよう。』をコンセプトに、これを体現するキャスティングとして、大阪府出身でブレイキンの第一人者である、Shigekix選手に出演を依頼しました。

CMは、Shigekix選手が、着物姿で演芸場の高座に登場し、落語を披露するかと思いきや華麗なブレイクダンスを披露する「落語×ブレイキン」篇、茶室でお点前を出されたShigekix選手がブレイクダンスを踊りだす「茶道×ブレイキン」篇の2篇です。

大阪出身のラッパー集団・梅田サイファーが書下ろした“異なる文化、異なる価値、掛け合わせる事が発想の鍵、ナンもアリにする創造の旅〜”という力強いラップにのせて、“ありえないを超えた”映像が完成しました。



国際共創学部CM 『ありえない、を超えよう。』  
 「落語×ブレイキン」篇



交通広告『ありえない、を超えよう。』  
 「茶道×ブレイキン」篇

<報道関係の本件に関するお問い合わせ先>

大阪経済大学 企画部広報課 東 Tel: 06-6328-2431 Mail: [kouhou@osaka-ue.ac.jp](mailto:kouhou@osaka-ue.ac.jp)

大阪経済大学 広報デスク(プランニング・ボード内) 福嶋・小宮 Tel: 06-4391-7156

<https://www.osaka-ue.ac.jp>

## CM概要

■放映時期：2023年9月11日（月）～2024年1月31日（水）順次公開  
 ※「茶道×ブレイキン」篇はWeb先行公開。TVは11月より順次放映予定。

■放映地域：TV CM：関西・岡山・香川・広島・愛媛・高知・鳥取・島根  
 Web CM：Youtube、TVer、X（旧Twitter）、Instagram  
 屋外広告：ツタヤエビスバシビジョン、梅田 dip ビジョン

■公開HP <https://www.osaka-ue.ac.jp/newfaculty/cm/>  
 ※9月11日（月）10時より公開

■監督：山本ヨシヒコ

■出演：Shigekix（半井 重幸）

■楽曲：作詞：KOPERU, teppei / 作曲：Cosaqu / 歌唱：KOPERU&tepei from 梅田サイファー

### 《出演者プロフィール》

Shigekix / 半井 重幸（なからい しげゆき）



7歳の時に姉の影響でブレイキンを始める。11歳の時から海外の大会に挑戦を始めKidsの国際大会を総ナメ。

14歳の時にTeam G-Shockに加入。

2020年Red Bull BC One World Finalにて世界最年少で優勝。2020, 2022, 2023年とJDSF全日本ブレイキン選手権で3連覇中。2022年WDSFブレイキン世界選手権にて銀メダルを獲得。

これまでに47回の国際大会での優勝経験を誇り、日本のエースとしてブレイキン界を背負って立つBboyである。

### 梅田サイファー

大阪梅田駅の歩道橋で行われていたサイファー（輪になり即興でラップをするセッション）の参加者から派生した集合体。多くのメンバーがラップバトルで輝かしい成績を残し、上下関係はなく、リーダーの存在はおろか結成の話があったわけでもない。ラッパー同士の繋がりから生まれた自由な関係性そのものが梅田サイファーと言える。THE FIRST TAKE FES出演やバラエティ番組OPテーマなども手掛ける。映像作家、デザイナー、トラックメイカーなどの顔を持つメンバーもあり、その活動は多岐に渡る。



梅田サイファー



KOPERU ※歌唱・作詞



tepei ※歌唱・作詞



Cosaqu ※作曲

## Shigekix (半井 重幸) 選手 コメント (インタビュー映像より)

### 1) どういったところから、普段インスピレーションを受けていますか？

アウトプットする瞬間は、自分がやって「めちゃくちゃ気持ちいいな」とか、「何かこうしっくりくるな」みたいな感覚をすごく大事にしています。感覚だったり、アイデアに自然と紐づくのが、普段自分の身の回りから受けてる影響だったり、目で見て感じるものだったり。経験から自分の中で構築されていく感性みたいな部分が、1つのアウトプットに繋がっていると思っています。何から何までインスピレーションになっているなと思いますね。



### 2) やはり世界には出て行った方がいいと思いますか？

外へ外へと新しいことを取り入れて、どんどん自分が変わっていくことだけをよしとしてる訳ではないですね。外に出て新たなものを感じることによって、当たり前のように身の回りにあるものの大切さだったり、魅力みたいなものに気づきます。人としての価値観みたいなものに凄く関わってくるのかなと思うので、自分の身の回りにあるものの良さに気づくためにも、外に出るっていうのが一つの良いきっかけになるのかなと思っています。

### 3) 今までありえないを超えたなといったような経験はありますか？



日本語ほどコミュニケーションが取れない時に海外に行き始めました。ダンサーが、円を描いて一緒に会話するかのよう一緒に踊ったりする空間があるんですけど、そんな時に心の繋がりみたいなのをすごく感じました。それって、何か概念を覆されるというか。一步間違えたら喋って得られるコミュニケーションを超えるようなコネクトを感じられるっていうのが、凄く衝撃的でした。そこが一つのブレイキンであり、カルチャーの魅力であり、自分がこのカルチャーを好きだなって思う一

つの理由なのかなと思います。それを当時9歳とか10歳で感じた時が、自分にとっての「ありえない」を超える経験だったのかなと思います。

### 4) 最後に受験を頑張っている高校生にメッセージをお願いします。

先行きが分からないっていう気持ち、不安な気持ちはあると思います。でもそれを乗り越えた人しか感じられない、新たな景色っていうのは、必ずあると思います。どんな道のりであっても、自分が今いる環境を大事にしながら、新しい挑戦をし続けて行って欲しいなと思います。

交通広告・屋外広告 概要

■掲出時期：2023年9月11日（月）～2月29日（木） ※日程は変更になる可能性があります。

阪急電車 中吊り広告	2023年9月11日～17日
ツタヤエビスバシビジョン	2023年9月11日～17日
梅田 dip ビジョン	2023年9月11日～17日
阪急電車 ドア横広告	2023年10月23日～29日
阪急梅田ビッグマン	2023年9月11日～2024年2月29日
阪神甲子園駅	2023年9月29日～2024年2月29日

